平成27年度　シラバス　授業計画

建築構造力学Ⅰ(Structural Analysis Ⅰ)

担当教員名	荘所　直哉	
学科，科目詳細	建築学科 3年 通年 専門科目 必修科目 2単位 講義	
学習・教育目標	(D)(F)(H)	
科目の概要	建築構造及び構造設計の基礎として、構造力学は重要である。前期は構造力学に関する基本事項、後期は静定構造物の応力を学習する。	
テキスト(参考文献)	寺本隆幸著:建築構造の力学I(静定力学編)、森北出版 (参考図書)松本慎也著:よくわかる構造力学の基本、秀和システム 中川肇著：基礎から学ぶ建築構造力学、井上書院	
履修上の注意	構造の骨組、数学に関して関心をもち、授業中はしっかり聞き板書すること。演習は自分で問題を解き、確実理解することが大切です。判らない点はかならず質問し、理解し先に進むこと。	
目標達成度(成績)の評価方法と基準	合格の対象としない欠席条件(割合)	1/3以上の欠課
	成績評価は、定期試験(70%)、演習課題(30%)で評価し、総合して60点以上を合格とする。演習課題は提出期限内のものを成績評価の対象とする。	
連絡先	shojo@akashi.ac.jp	

授業の計画・内容
第1週　力(1):構造力学の概説、力の表示とモーメント
第2週　力(2):力の合成と分解(1)
第3週　力(3):力の合成と分解(2)
第4週　力(4):力の釣り合い
第5週　力(5):演習
第6週　構造物(1):構造物の構成、支点と接点
第7週　構造物(2):安定・不安定、反力
第8週　中間試験
第9週　構造物(3):反力に関する演習(1)
第10週 構造物(4):反力に関する演習(2)
第11週 構造物の応力(1):概念
第12週 構造物の応力(2):荷重、曲げモーメントとせん断力の関係
第13週 構造物の応力(3):応力の求め方
第14週 構造物の応力(4):応力に関する演習(1)
第15週 構造物の応力(5):応力に関する演習(2)
期末試験
第16週 静定梁(1):概要、片持ち梁の解法
第17週 静定梁(2):片持ち梁の例題解説と演習
第18週 静定梁(3):単純梁の解法
第19週 静定梁(4):単純梁の例題解説と演習
第20週 静定梁(5):ゲルバー梁の解法及び例題解説
第21週 静定梁(6):静定梁に関する演習(1)
第22週 静定梁(7):静定梁に関する演習(2)
第23週 中間試験
第24週 静定ラーメン(1):概要と片持ちラーメンの解法
第25週 静定ラーメン(2):片持ちラーメンの演習
第26週 静定ラーメン(3):単純ラーメンの解法
第27週 静定ラーメン(4):単純ラーメンの演習
第28週 静定ラーメン(5):3ヒンジラーメンの解法
第29週 静定ラーメン(6):3ヒンジラーメンの演習
第30週 総合演習
期末試験